

# 2022年日本平和大会実行委員会ニュースno.8



発行:2022年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2022/11/29  
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

## 閉会あいさつと行動提起

今年もオンライン実施となりました2022年日本平和大会は、成功裏に終わりつつあります。

今大会には、昨年大会を上回る、2日間でのべ約1,200カ所での視聴会および個人視聴で、約4,000人が参加したことを報告します。

大会成功のために奮闘された全国のみなさん、そして、大切な情報、情勢の見方、た



閉会集会のフィナーレ

かいの展望など示していただいた講師・出演者のみなさんに心から感謝申し上げます。さらに、激動の中で平和のためにたたかう世界の友人からの報告は、私たちの認識を豊かにし、連帯を深めたことを確認したいと思います。

昨日の主催者報告で明らかにされましたように、憲法と平和をめぐる情勢は歴史的転換点を迎えています。

岸田内閣が設置した有識者会議の報告は、アメリカの国際戦略に追従し、これまで「専守防衛」だとしてきた日本の軍事態勢を根本的に転換して、「戦争準備」ともいえる方向を提起しています。

政府・与党の議論の根本問題は、戦争の放棄・戦力不保持を定めた憲法9条の視点を全面的に欠落させ、戦争を前提として問題を論じていることにあります。そして、大軍拡を賄うために国民に増税を押し付け、社会保障などを削減しようとしています。

私たちは、どんなことがあっても戦争を起こさず、戦争に巻き込まれないために、日本が憲法に基づく外交努力を尽くすことを求めるとともに、コロナや物価高騰にあえぐ国民に軍拡財源を押し付けることを許しません。

本大会での報告や討論で、今日の情勢を敏感に受け止め、戦争につながる動きを許さず、平和と暮らしを守るための、沖縄をはじめ全国各地で湧き起っている運動が交流されました。この運動の波を強く大きなものにしていこうではありませんか。

支持率低下で行き詰まる岸田政権が進める今年末の安保3文書改定と来年度予算案決定、年明けの通常国会にかけての大激動に対して、私たちは岸田政権内閣打倒の大運動をもって立ち向かおうではありませんか。当面、11月30日の大軍拡反対などを掲げた中央集会や、太平洋戦争開戦の日に戦争と大軍拡に反対する12月8日の全国一斉行動を成功させ、さらに大きく運動を広げましょう。

そして来年、全国の運動で新たな情勢を切り開いて、2023年日本平和大会 in 鹿児島でお会いしましょう。



埼玉土建の視聴会 閉会集会に30人

## ■安保3文書改定を許さないため、大会が呼びかけた当面の行動提起

- ① 学習・宣伝・抗議の大運動を全国津々浦々で（平和大会学習パンフを活用しよう）
- ② **12.8 全国いっせい行動**。前後して連続的な反対行動に取り組もう
- ③ 総がかり行動の11.30集会など、広範な人々と共同して行動を成功させよう